

平成27年5月19日開催の部長会議の報告をします。

部長会議報告書

平成27年5月19日(火)

3階第2会議室9:15～

1. 議題・課題等提案

(1) 市長公室（市長公室長から説明）

1 公共施設マネジメントの推進について

1) 位置付け

- ・資産の有効活用を具現化するための公共施設マネジメントの位置付けである。
- ・「ヒト・モノ・カネ」の三本柱と公民連携に取り組むが、公共施設マネジメントはこのうち「モノ」と「公民連携」に着目している。
- ・目指すべき姿は、市が保有する資産を将来にわたり有効に管理・運営する仕組みとなるというもので、本市が保有する資産について活用方法や管理運営形態の見直しを行いながら、適切にマネジメントできる仕組みの構築に取り組んでいく。
- ・公共施設マネジメントいわゆる「ハコモノ」については、情報の一元化と共に統廃合や機能転換、多機能化、複合化を図る一方で、今後も保有する施設については、保全、長寿命化し、修繕、維持管理費のコスト縮減を図る。
- ・インフラ系・プラント系などの施設情報を総合的かつ計画的に管理できる全庁的な組織体制の構築を行うとともに、公共施設等の維持管理に関する財政負担の軽減や平準化、公共施設等の適切な配置をしようとするものである。
- ・公民連携の取組みとして、統廃合や多機能化など今後の管理方法について、民間のノウハウや技術、資金等を積極的に活用するなど、各種公民連携手法の効果的な運用に取り組んでいく。

2) 桑名市公共施設等総合管理計画について

- ・昨年4月に総務省から各地方公共団体に対して公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するための計画の策定要請があった。
- ・ハコモノを対象とした「桑名市公共施設等マネジメント白書」をベースにインフラ、プラントなどを含む全ての公共施設を対象とした「桑名市公共施設等総合管理計画」の策定に取り組んできた。
- ・今後は、桑名市公共施設等総合管理計画の内容について庁内検討組織を中心に検討を加え、議会の報告を経て公表を行う予定である。公表時期は6月を予定している。実現に向けて市民の合意づくりが必要になるので、今後、市民意識調査、市長とどこでもトーク、市民向けのシンポジウムなど開催し、計画の周知に合わせて意見を聞き取りながら、反映できるものは反映するようにしていく。

3) 庁内検討組織「桑名市公共施設・資産マネジメント推進本部」について

・公共施設マネジメントは、全庁的・総合的に取り組んでいく必要があり、全庁的な危機意識や問題意識を共有し、トップダウンによる推進力を発揮できる全庁で横断的な内部組織が不可欠である。

・部長級で組織する「桑名市公共施設・資産マネジメント推進本部」を設置し、その下には課長級で構成する「ハコモノ部会」「インフラ部会」を設置する。各部会の施設の機能ごとに検討会をそれぞれ9つ設置し全庁的かつ横断的に取り組んでいく。当面は、6月末の管理計画公表に向けて「桑名市公共施設・資産マネジメント推進本部」「ハコモノ部会」「インフラ部会」を中心に内容の検討を進めていく。(P4 位置付け図)

・他方、昨年度まで未利用資産の処分や有効活用について検討を進めてきた「市有財産活用検討委員会」を公共施設マネジメントと一体的、横断的検討を図るために、推進本部を主体に合わせて「資産活用部会」として設置する。今後、「ハコモノ部会」「インフラ部会」については、5月21日に第1回目を開催し、推進本部は6月8日に開催する予定である。

2 桑名市総合計画進捗管理と事務事業評価の連携について

・総合計画のビジョンの一つとして行政改革大綱「納税者の視点で次の世代に責任ある財政に」を掲げており、さらなる行財政改革に取り組み、時代に即した合理的かつ効率的な行財政運営が求められている。

・行政改革推進委員会から、行政改革大綱や総合計画の進捗管理と市民意識との連携、計画を策定して終わりではなく、全員参加型での計画の進捗管理などの意見が出されている。

・これらの課題を踏まえ、総合計画の基本計画・基本事業を推進するために外部の有識者の意見を反映できる仕組みで行い、二次予算の算定資料として活用して総合計画を効率的に進めていきたい。

・事務事業評価の事後評価を6月に実施し、まちづくりアンケートを7月頃に行い、施策評価に反映し、サマーレビューで各課の自己評価をしたうえで概算要求をすることとしている。基本計画評価表に基づき、第三者委員会の意見をいただき、翌年度の二次予算の算定資料として活用していきたいと考えている。

・目指すものは、総合計画のまちづくりの行財政改革が相互に連携を図りつつ、まちづくりの方向性を統一しながら、次世代に責任を持って引き継げるような市政であり、継続的な評価・検証・分析を通じた改善の気付きである。今後も必要な改善に手を加えながら実施していく。

2. その他

(1) 桑名市総合計画の実施計画と政策的経費（二次予算）の編成について（市長公室）

・平成28年度の政策的経費（二次予算）の編成から、新しい予算編成サイクルを構築して実施する。予算要求書の事項をインポートして作成することとしているので、できるだけ各課への負担を軽減していく。

・そのなかで「DO」の部分で総合計画に基づく「平成27年度実施計画書」について、今年

度から資料2の様式で作成していく。

- ・この実施計画書の様式について各所管で確認をお願いする。資料3の確認要領に基づき各所管において、記載されている内容を確認いただき、記入されていない箇所への入力をお願いしたい。なお、行財政改革視点の欄は、来年度からの活用となるので今年度分は「－」（バー）で表示されている。
- ・この部長会議終了後、速やかに各所管に実施計画の様式をメール送信するので、ご確認をお願いしたい。

(2) 桑名市行政改革大綱 実施計画（案）について（市長公室）

- ・少子化、人口減少時代を迎え、この実施計画で取り組む項目は、行財政改革を一過性のものにせず、継続的に取り組む課題であるとの考えのもとに、第三次行政改革大綱実施計画の取り組みを踏まえたうえで定めている。
- ・表紙デザインは、政策経営課の若手職員が考案した。第4次行政改革大綱の「4」を全体で表し、トライアングルズの三角形と、明るい未来へ向かうイメージで右上がりを表現した。
- ・行財政改革の必要性は社会情勢の変化と共に、高齢化社会の進展による福祉・医療関係会費の増加、老朽化した公共施設の維持、更新費用の増加に対応できる足腰の強い基盤が必要である。
- ・行政改革の推進は、「ヒト・モノ・カネ」の行政資源を民間視点で見直すことであり、従来の価値観にとらわれることなく、公民連携の考え方を取り入れることである。
- ・実施計画の期間は、平成27年度から平成29年度までの3ヶ年であるが、毎年PDCAサイクルに基づき評価・検証を行う。
- ・「ヒト」は、全員参加型市政に向けた組織力と職員力の向上で、平成27年度重点実施項目として「定員適正化計画の推進」と「新たな人事評価制度の取り組み」を掲げた。
- ・「モノ」は、資産の有効活用で、平成27年度重点実施項目として「公共施設等総合管理計画の策定・推進」を掲げた。
- ・「カネ」は、効率的・安定的な財政経営で、平成27年度重点実施項目として「中期財政計画に基づく財政経営」と「ふるさと納税の推進」と「提案型公共サービス公民連携制度」を掲げた。
- ・5月28日(木)行政改革推進委員会に諮り決定して、全庁に示していく。

(3) まちづくり指標の確認及び算定方法等について（市長公室）

- ・関係課と指標について協議をしたうえで新総合計画において「まちづくりの指標」を示したものである。エクセルデータの「取得月、算定方法、取得、成果指標値、方向性」について各所管での記入をお願いするもの。成果指標は今後、行政評価に活用される。
- ・部長会議終了後、速やかにメールで依頼させていただく。

(4) 平成28年度三重県予算編成に関する要望について（市長公室）

- ・1対1対談とは区別した形で実施する。

- ・市長の要望活動は、全ての要望項目をみて知事に対して要望活動を実施するかどうかを決定する。
 - ・要望書冊子は、政策経営課において作成するので、各所管から要望活動を実施し、結果報告と県からの回答を政策経営課へ提出してもらいたい。
 - ・要望書冊子は、提出された項目を一言一句掲載するので、所管において十分確認してもらいたい。
 - ・提出期限は、6月5日(金)で、各部主管課で取りまとめのうえ提出してもらいたい。
- ※1対1対談項目の未提出の部局は、至急報告をしてもらいたい。(該当がない場合も含む。)

(5) 平成27年度桑名市水防訓練の実施について(都市整備部)

- ・今年度は桑名市のみで、本部長に市長、副本部長に副市長で実施する。
- ・5月24日(日)午前8時30分から概ね11時10分頃まで、長島町押付地内の長島運動公園(ソフボール場)で行う。
- ・会場の詳細は、位置図を確認いただきたい。
- ・各部長の出席をお願いしたい。

(6) その他

- ・5月31日(日)に午前9時からお木曳が開催される。市民会館前から七里の渡しに向けて行われるので是非ご参加をいただきたい。(経済環境部)
- ・5月30日(土)に桑名市民会館で全国山・鉾・屋台保存連合会桑名大会開催されるので、各部長におかれては、当日会場でお出迎えをお願いしたい。(総務部)